

Q 1年以内に出す目に見える成果とは？

不法滞在している外国人を減らすこと。出稼ぎ目的でズルをして入国している方にはお帰りいただく、そして日本ではルールを破って滞在しても楽に稼げない、少しずつ出来上がってきたそういうイメージを強化していつて入ってくる人を減らす。単純な話で入ってくる人よりも出ていく人の方が多くなれば総数は減っていく。本当はビザ免除の廃止もしなければいけないが、これは何度言っても外務省が乗ってこない。これは今後も言い続ける。**必ず1年以内に人数を減らして目に見える形で成果を出していく。**

Q 外国人問題の解決とは

外国人の総量をしっかりと管理・コントロールするというのがこの問題の最終的な解決となる。日本の人口が減り続ける中、今の政府が育成就労制度でやろうとしているのは「何人足りなくなるから何人入れよう」といった数字の足し算引き算でしか考えていない。足りない分を入れるだけになってしまっている。外国人の育成就労制度で入国する人はブルーカラーが多い。だから日本人のブルーカラーがしっかりと稼げるようになれば外国人に頼らなくても日本国内の労働力が増えてくる。**国内の労働力をしっかりと確保したうえで足りないところを補っていく**という考え方にしなければいけない。これから先、AIが発展していつてホワイトカラーの労働力が余っていくという話もある。そういった国内の労働力を確保しどうしても足りない部分を管理し、国外からの労働力で補っていくことを目指す。

昨年12月の予算委員会では、**人口問題や土地問題などすべての外国人問題が集約されている川口を、外国人問題解決のモデルケースとするために予算の確保や制度設計に全力を注いで欲しいと高市総理に進言し、高市総理からも前向きなご答弁をいただいた。5年間かけてやっと準備が整ったという思いだ。1日も早い外国人問題解決に向けこれからも全力を注いでいきます、ご期待ください。**

Youtube▶▶▶
2025年12月
予算委員会
高市総理に質問



高橋英明SNSはこちら！



Youtube



X



TikTok



公式LINE

国会事務所

〒100-8982 千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館 808号室
TEL 03-3508-7260 FAX 03-3508-3530

川口事務所

〒333-0847 埼玉県川口市芝中田2-9-6 TEL 048-268-6739
(電話受付 平日10~17時) FAX 048-487-9040

高橋英明
国政報告 特別号



発行元

日本維新の会衆議院
埼玉県第2選挙区支部

たかはしひであき

外国人問題と戦った5年間



【公式HP】

埼玉維新の会代表 衆議院議員 **高橋英明** Interview インタビュー

外国人問題について高橋英明衆議院議員にインタビューを行いました。高橋議員は2021年の総選挙で埼玉2区から出馬し初当選、一昨年行われた選挙でも再選を果たされました。国会では外国人問題について初めて総理大臣に質問し、注目を集めました。その後も、国会活動をはじめ、トルコへの視察や在日大使との面談を重ね、取り締まりの強化など外国人問題解決に向けて精力的に活動されています。現在は日本維新の会外国人政策と人口戦略調査会長として連立与党での外国人政策の一翼を担っています。そんな高橋議員に外国人問題に対するこれまでの活動とこれからの動きについて伺いました。

プロフィール

経歴

川口市芝中田生まれ
川口市立芝南小学校卒業
川口市立芝中学校卒業
浦和市立(現:さいたま市立)
南高等学校卒業
私立武蔵大学経済学部卒業
中央工学校建築科専門部卒業

党役職

埼玉維新の会代表
両院議員総会長
外国人政策と人口戦略調査会長

主な役職

元川口市議会議員3期
日本バリアフリーダイビング協会顧問
川口市サッカー協会元会長
日本棋院川口支部元支部長
(社)川口青年会議所第38代理事長

資格

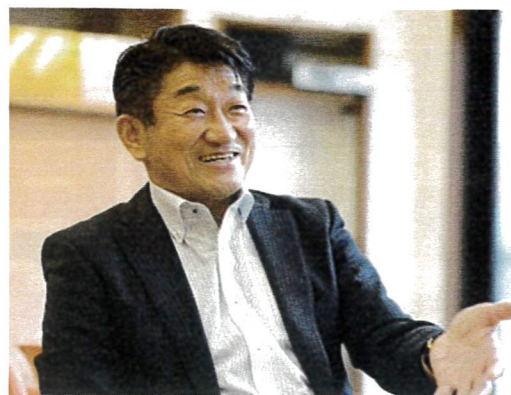
一級建築施工管理技士 宅地建物取引士
珠算2段(小学6年生で取得/日本代表として韓国へ)

Q 外国人問題に取り組むきっかけは？

川口市では外国人が増え、7、8年前から2世・3世を中心に交通ルールや生活習慣などのルール違反が目立つようになり、外国人に対する違法行為やルール違反の相談を受けることが増えていった。

当初は、なんでもかんでも「外国人との共生」という言葉が先走っていて、外国の文化習慣をまずは我々日本人が受け入れなければいけない雰囲気になっていた。これが大きな間違いだった。まずは入ってきた外国人に日本の文化習慣をしっかりと認識をしてもらい、それができるようになってから、彼らの文化を我々も理解していく、そうでないと共生などできるわけがない。その順番を最初に間違えたから今おかしくなっている。**外国人に選ばれる国日本ではなく、我々が外国人を選ばなければいけない。**

日本は人口がどんどん減っていて、外国人との向き合い方を考えなければいけない中で、その管理に対する制度が全然しっかりしていなかった。これまでの日本の政策では全く管理ができておらず、ビザを免除したりして、外国人が入りやすい環境を作ってしまったのに管理ができていない無法状態だった。これは一度整理が必要で、そこから始めないと解決できない。**ルールを守らずズルをして滞在している方には帰国していただく、それがスタートだと考えた。**



Q 国会で初めて外国人問題に対して切り込んだ高橋さん、反響は？

これまでに外国人問題について質問をした議員はいなかったが、2022年2月の予算委員会で私が初めてこの問題について質問をした。質問中に人権問題や人道的といった目線でたくさんのヤジを受け、SNSやメールで脅迫のようなものもたくさん受けた。それでも様々な委員会で質問の機会のたびに外国人問題についていろいろな角度で問い続けた。2024年2月の3回目の予算委員会でも**岸田総理(当時)に対して「ルールを守らない外国人とも共生するのか」と質問し「ルールを守ることが大前提である」と明確な回答**を導き出し、そこから一気にこの問題が日本中に広がっていった。ネットやメディアでも外国人問題が注目を受けるようになって去年の参議院選挙の頃にはクローズアップされて大きな争点の一つになった。

Youtube▶▶▶
岸田総理に質問
「ルールを守らない
外国人とも強制するのか？」



Q 入管法改正について

2021年に名古屋入管で女性の収容者が死亡する痛ましい事件が発生し、入管法改正が非常に難しくなり棚上げされていたときにも私は質問し続けていた。一石を投じ続けたことにより、省庁も動きやすくなった。この**入管法の改正により難民申請に回数制限が設けられ難民申請制度を悪用し送還を忌避する問題を解決した**。省庁は国会での質問や答弁など、きっかけや裏付けがあると動きやすくなる、これはのちに省庁の方にとっても感謝された。



予算委員会で総理に質問

Q 外国人問題解決に向けた専門機関・担当大臣の設置について

質問を繰り返したことにより、党(日本維新の会)でも外国人問題に対して理解が深まり重要性・重大性が認識され始めた。藤田共同代表も問題意識が強く、**この問題は各省庁縦割りのままでは対応できない、外務省や法務省、文科省の学校問題などもあり多岐に渡っている、各省庁横断的な組織にしないと絶対にダメだ**という話になった。これを昨年2月26日の予算委員会で藤田共同代表と連携して立て続けに外国人問題について質問をし、一緒に**外国人問題専門組織の設立を提案**した。さらに責任を持って取り組む担当大臣の必要性も党としても一議員としても訴え続けた。すると去年の参議院選挙で石破総理(当時)が急遽**専門の部署を設ける**と発表した。選挙ということもあったが、高市総理がそれを引き継ぎ、**我々が提案した「外国人との秩序ある共生社会推進室」をつくり、担当大臣を据えてくれた**。これで重点的にしっかりと取り組んでいくという筋道ができた。この問題に対し誰も質問をしていないところに一人で切り込んで党に後押しをしてもらって突き進んだ、一つの成果だと感じている。外国人問題においてもしがらみのない日本維新の会は常に最前線でトップランナーとして問題解決をけん引している。



小野田大臣と意見交換

X▶▶▶
維新提言(QR左)
Youtube▶▶▶
藤田共同代表と対談対談(QR右)



Q 国会以外での活動

在日トルコ大使に面会をして問題解決に向けて協力していくことにご同意いただいた。百聞は一見に如かず、トルコ現地視察では日本で難民申請をする方のルーツやバックグラウンドを確認した。トルコの国会議員や有識者とも会談を行い、**日本とトルコの友好関係は維持しつつ、問題解決に向けて協力していく方針を確認できた**。トルコ側との協力関係を強化していく一方、取り締まりの強化のため、所轄の警察署長と定期的面会して現状の報告を受け対策を協議し、**警察庁の外国人対策のトップにも直接会い川口の現状を説明して協力を要請してきた**。



エルトゥール駐日トルコ大使と

Youtube▶▶▶
トルコ視察報告



Q これから外国人問題はなるのか？

我々が、次に考えているのは人口戦略。人口はどんどん減っていて40年後には日本人は半減してしまう恐れもある。**人口が減り続ける中、なんでもかんでも闇雲に外国人を受け入れるわけにはいかない**。プランニングをし、**外国人の総量規制と量的マネージメントをしっかりと行い、コントロールしないと大変なことになってしまう**。こんな話を実は1月末に高市総理に提言しに行く予定になっていたが、急に選挙風が吹いてバタバタし始めたのでどうなるか。とにかくまずは一年以内に目に見える成果をだすことこれが目標。